

訓練資料シリーズ No. 3

訓練修了者面接情報集 正誤表

1頁 15行	苦斗	苦闘	31頁 2行	シェーパー	シェーパー
5頁 19行	g m	g m	31頁 2行	プレナー	プレナー
5頁 下1行	ドリル・マシン	ドリリング・マシン	44頁 14行	勤めて	勤めて
6頁 11行	100分代	100分台	45頁 29行	オーリング	オーリング
10頁 9行	ポート	ヘッド	47頁 4行	Na	Na
10頁 9行	軸	スピンドル	47頁 3行	A	A
10頁 10行	遅れ	振れ	65頁 12行	アルミダイキャスト	アルミダイキャスト
10頁 13行	ついて	支えて	65頁 12行	使いる	使かう
11頁 22行	あわせて	あわてて	69頁 6行	やってろ	やっつける
12頁 14行	ドリル屋	ドリル班	69頁 下3行	訓練校	訓練所
12頁 下5行	いる人の	いる人に	76頁 8行	如識	知識
16頁 5行	できた人は	きた人は	78頁 16行	機械のいう	機械という
16頁 15行	リミット外	リミット	88頁 12行	Fu	Tu
16頁 15行	リミット内に	リミットの	90頁 26行	社外	意外
29頁 27行	説明	説得			

ま え が き

この面談事例集は、向上訓練の課題を探るコース開発の研究過程で収集したもので、総合高等職業訓練所の機械科で2年間の養成訓練を受けた人達が、その後どのような姿勢で職業活動に従事し、その間にどのような心境の変化があったか、ほぼ20年間を回想してもらった面談記録である。

ここに収録した面談事例は13件と少ないものの、養成訓練修了者が自己の職業的アイデンティティを確立していく過程の多様さと、キャリア形成のパターンがよく把握されていると言えよう。

この資料によって「キャリア形成と向上訓練の課題」（「職業訓練研究」第8号、1990年）がとりまとめられ報告されている。その素データを訓研資料シリーズとして敢て印刷配布する理由は主として次の2点である。

第一は、キャリア・ガイダンス資料としての活用、第二は訓練評価情報としての価値もあり、こうした訓練修了者の追跡資料は、日々訓練業務にたづさわる人々にとって広く共有されるべき情報と考えるからである。

約20年前に公共職業訓練で基礎技能を習得し、その経験を軸にライフスタイルを築くために苦闘し、地元企業の中堅リーダーとして活躍している先人の語る言葉は、現在の受講者にキャリア目標の設定を促し、訓練への動機づけを強めるであろう。機械科以外についてもこの種の情報収集活動が広く行われることを期待したい。

また、職業訓練にたづさわるものとして、日頃実施している訓練について、訓練受講者からどのように評価されているか、社会の要請する教育訓練機能に役立っているかどうか常に客観的な認識を持っている必要がある。このことは、訓練基準にしばられない、ノンフォーマル型の職業訓練が重視されるようになっているだけに一層重要である。その意味では、この面談事例は職業訓練の評価資料として読み、訓練要望の把握や訓練内容の設定、指導のあり方の改善に反映させる多くのヒントを得るためにも利用できると思われる。

なお、本調査の対象は山梨技能開発センター機械科、昭和42年度、43年度

の修了生、11名、および昭和49年修了生2名である。調査期間は昭和62年10月から63年5月である。その面談時の項目は次の通りである。

(面談項目)

- ・今どのような仕事をしているか。
- ・今までにどのような仕事をしてきたか。
- ・キャリア形成上、自分が大切にしていることは何か、自己の存在価値は何ですか。
- ・今までの職業生活で悩んだことは～
- ・子どもの頃の自分は～
- ・自分の職業をどのように思うか。
- ・訓練修了後、今までにどのような学習機会があったか、特に off J Tとして研修を受けた内容は～
- ・公共訓練の向上訓練にどのような内容・機能を期待するか。
- ・“旋盤技能クリニック・コース”をどのように思うか。
- ・今から10年後の自分は～
- ・自分にとって成功とは～
- ・あなたにとって職業訓練を受けた意味は～。

この資料の作成は、開発研究部第一開発研究室の戸田勝也室長が担当した。

最後に、この調査実施に御協力いただいた茨城雇用促進センター 渡井道輔業務課長(元山梨技能開発センター)、さらに面談に応じていただいた皆様に心よりお礼申し上げます。

平成2年3月

訓研資料シリーズNo.3

訓練修了者面接情報集

発行 1990年3月

発行者 職業訓練研修研究センター

所長 志賀 武彦

〒229 神奈川県相模原市相原1960

電話 0427-61-2111(代)

印刷所 (有) 藤本総合印刷

相模原市田名3039-30

電話 0427-62-9501